

所 属	県土整備部 河川課		
担当(係)名	企画環境担当	内線	3729

<清流の国ぎふづくりの推進>

清流の国ぎふの川づくりを支える人づくり

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
3,500	使・手 2,000	需要費 1,677(水質調査機器等)
(前年度 2,000)	一財 1,500	報償費 520(講師報償費等)

2 背景・現状

昨年開催された「第30回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～」を契機として、森・川・海に至る流域全体の水環境の保全に対する県民の意識が高まっている。

3 事業目的

本県の恵まれた自然環境を将来にわたって守り、伝えられるよう、高校生や大学生といった若い世代を含め、関係する技術者や活動者らの技術交流・連携を進めるとともに、各河川において実施される学童の参加する体験学習などの活動を支援することで、流域全体の水環境の保全につながる取り組みを発展させる。

4 事業概要

○清流ぎふ水環境シンポジウムの開催

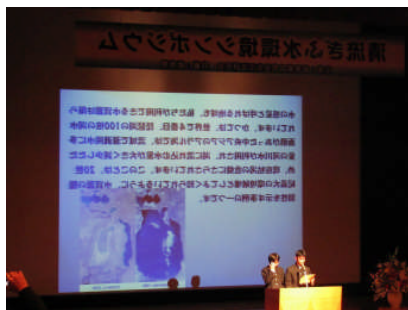
- 流域全体が連携した水環境の保全を図るため、森林、農業、河川や地下水など、水をキーワードとしてつながる各分野の技術者や活動者らが一堂に会するシンポジウムを開催し、技術交流・連携を進める。

新 ○若い世代の水環境研究の支援

- 平成22年11月に開催した「清流ぎふ水環境シンポジウム」での『若い世代からの提言』において発案された高校・大学生による交流・研究発表の場を設けるほか、教材の提供等の支援を行う。

○川の体験学習の支援の拡充（目標：年間延べ3200人の参加）

- 小中学校が行う総合学習に加え、新たに地域のNPO団体等が実施する河川での体験学習において、講師派遣、教材の提供等の支援を行う。



若い世代からの提言「岐阜県の水環境の未来」



中野方ダム操作室の見学(平成22年6月)

(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) (1) 河川総務費
 (明細書事業名) ○河川管理費
 自然の水辺復活プロジェクト推進費